

保健室だより

平成28年度第8号 千葉県立千葉南高校保健室

麻疹がまたやってきた！

連日の報道で知ってる人も多いと思うけど、麻疹（はしか）がまた流行してきてるんだ。

日本では2007年に麻疹のパンデミック（感染症の全国的な大流行）が起こった。小さい頃に予防接種をしていなかったり、2回受けるべきところを1回しか受けていなくて、抗体が十分にできてなかった人が多く、あっという間に広がってしまったんだ。

その後2008年から5年間の期限つきで、国がお金を出して、中学1年生と高校3年生に追加の定期接種をすることになった。

麻疹のワクチンは、1回目が生後12～24か月未満、2回目が小学校入学前1年間に受けることになっている。みんなはどうか？予防接種の記録は、入学時にて提出してもらった「健康の記録」にも記入欄があるんだけど、何も書いてない人もいるんだよね～（泣）

麻疹の予防はワクチンしか方法がないんだ。 ウイルスはとても小さいからマスクも効果なし！ワクチンを打ったか不明な人は、お金をかけても免疫をもらっておくのは大切だと思うよ。それじゃ、麻疹のことについて、おさらいしてみよう。

感染源・感染経路・感染力など

麻疹ウイルスが人から人へ、空気感染（呼吸をするだけでうつる）、飛沫感染（くしゃみや咳により唾液が飛んできてうつる）、接触感染（ウイルスがくっついた物にさわった手で口や鼻をさわることでうつる）。感染力は強力！麻疹の免疫がない集団に1人の発症者がいたら、12～14人が感染するって言われてる。因みにインフルエンザは1～2人。ウイルスが入ったら90%以上は発症する。

発症した人が周囲に感染させる期間は、症状が出る1日前から発疹が出て5日後くらい。もちろん登校してはいけない病気だから、出席停止になるよ。

潜伏期間・症状

感染後10～12日の潜伏期間の後、発熱・咳などで発症。38℃くらいの熱が2～4日続き、だるさ、鼻水、くしゃみ、目の充血、目やに、光がまぶしく感じるなどの症状も出る。発疹が出る1～2日前に口の中のほっぺの裏側に1mmくらいのお小さな白い斑点（コプリック斑）が出る。これが麻疹の特徴！！その後体温が少し下がるけど、半日後くらいにまた高熱が出て、発疹登場となる。発疹が全身に広がるまで高熱が続く。発疹が4日くらい続いた後、解熱しだんだん回復していく。けれど、治っても免疫機能は低下するため、また他の感染症にかかると重症化し、体力が戻るまでに1ヶ月くらいかかることもある。

その他

- ・麻疹にかかると他のいろんな病気にも罹りやすくなり、肺炎や脳炎で死亡することもある。
- ・修飾麻疹：麻疹の抗体はあるけど、それが不十分な人が感染すると麻疹の典型的な症状が出ないことがある。だけど人に感染させる力はあるので、流行期に体調不良となった人は、必ず病院に行って診てもらおう。